# KOSTAC/DL シリーズ CCM SIO ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	8
3	通信設定例	9
4	設定項目	60
5	結線図	65
6	使用可能デバイス	83
7	デバイスコードとアドレスコード	93
8	エラーメッセージ	96

# はじめに

本書は表示器と接続機器を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



# 1 システム構成

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
KOSTAC SG		G-01DM 上の CN1	RS232C	設定例1(9 ページ)	結線図 1 (65 ページ)
		G-01DM 上の CN2	RS232C	設定例 2 (11 ページ)	結線図 1 (65 ページ)
	SG-8		RS422/485 (4 線式)	設定例3 (13ページ)	結線図 2 (66 ページ)
		CPU 上の汎用通	RS232C	設定例 4 (15 ページ)	結線図 1 (65 ページ)
		信ポート <sup>1</sup>	RS422/485 (4 線式)	設定例 5 (17ページ)	結線図 3 (71 ページ)
	SU 5	UOIDM	RS232C	設定例 6 (19 ページ)	結線図 1 (65 ページ)
	SU-5	U-01DM	RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (21 ページ)	結線図 2 (66 ページ)
	SU-5E SU-6 SU-6B SU-6B-C	U-01DM	RS232C	設定例 6 (19 ページ)	結線図 1 (65 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (21ページ)	結線図 2 (66 <b>ページ</b> )
		CPU 上の汎用通 信ポート	RS232C	設定例 8 (23ページ)	結線図 1 (65 ページ)
KOSTAC			RS422/485 (4 線式)	設定例 9 (25ページ)	結線図 3 (71 ページ)
SU	SU-5M SU-5M-C	U-01DM	RS232C	設定例 6 (19 ページ)	結線図 1 (65 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (21ページ)	結線図 2 (66 ページ)
		CPU 上の汎用通 信ポート 1	RS232C	設定例 10 (27ページ)	結線図 1 (65 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 11 (29ページ)	結線図 3 (71ページ)
		 CPU 上の汎用通 信ポート 2	RS232C	設定例 12 (31ページ)	結線図 4 (74 ページ)
		CPU 上の汎用通 信ポート 3 <sup>2</sup>	RS422/485 (4 線式)	設定例 13 (33ページ)	結線図 6 (75 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		LI OIDM	RS232C	設定例 6 (19 ページ)	結線図 1 (65 ページ)
		0-01DM	RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (21 ページ)	結線図 2 (66 ページ)
		CPU 上の汎用通	RS232C	設定例 10 (27 ページ)	結線図 1 (65 ページ)
		信ポート 1	RS422/485 (4 線式)	設定例 11 (29 ページ)	結線図 3 (71 ページ)
KOSTAC SU	SU-6M SU-6M-C	CPU 上の汎用通 信ポート 2	RS232C	設定例 12 (31 ページ)	結線図 4 (74 ページ)
		CPU 上の汎用通 信ポート 3 ( D- Sub25 ピン使用 時) <sup>2</sup>	RS422/485 (4 線式)	設定例 13 (33ページ)	結線図 6 (75 ページ)
		CPU 上の汎用通 信ポート 3 ( 6 ピン端子台使用 時) <sup>2</sup>	RS422/485 (4 線式)	設定例 13 (33ページ)	結線図 7 (77 ページ)
KOSTAC SZ	SZ-4	CPU 上の汎用通 信ポート	RS232C	設定例 14 (35 ページ)	結線図 4 (74 ページ)
KOSTAC	PZ3-16ND1-16TD1 PZ3-T PZ3M	CPU 上の汎用通 信ポート 2	RS232C	設定例 25 (56 ページ)	結線図 8 (79 <b>ページ</b> )
PZ3			RS422/485 (4 線式)	設定例 26 (58 ページ)	結線図 9 (80 ページ)
KOSTAC SR	SR-21 SR-22	E-02DM-R1	RS422/485 (4 線式)	設定例 15 (37 ページ)	結線図 2 (66 ページ)
DL-205	D2-240	CPU 上の汎用通 信ポート 2	RS232C	設定例 16 (39ページ)	結線図 4 (74 ページ)
	D2-250-1	CPU 上の汎用通 信ポート 2	RS232C	設定例 16 (39ページ)	結線図 8 (79 ページ)
	D2 260	CPU上の汎用通	RS232C	設定例 16 (39ページ)	結線図 8 (79 ページ)
	D2-260	信ポート 2	RS422/485 (4 線式)	設定例 17 (41 ページ)	結線図 9 (80ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	D4 420	D4 DCM	RS232C	設定例 18 (43 ページ)	結線図 1 (65 ページ)
	D4430	D4-DCM	RS422/485 (4 線式)	設定例 19 (45 ページ)	結線図 2 (66 ページ)
DI 405			RS232C	設定例 18 (43 ページ)	結線図 1 (65 ページ)
DL-403	D4 440	D4-DCM	RS422/485 (4 線式)	設定例 19 (45 ページ)	結線図 2 (66 ページ)
	D4-440	CPU 上の汎用通	RS232C	設定例 20 (47 ページ)	結線図 1 (65 ページ)
		信ポート	RS422/485 (4 線式)	設定例 21 (49 ページ)	結線図 3 (71 ページ)
DL-305	D3-330	D3-DCM	RS422/485 (4 線式)	設定例 22 (51 ページ)	結線図 2 (66 ページ)
DirectLogi c 05	D0-05AA D0-05AD D0-05AR D0-05DA D0-05DD D0-05DD-D D0-05DR D0-05DR-D	CPU 上の汎用通 信ポート	RS232C	設定例 23 (53 ページ)	結線図 5 (74 ページ)
DirectLogi c 06	D0-06DD1 D0-06DD1-D D0-06DD2 D0-06DD2-D D0-06DR D0-06DR-D D0-06DA D0-06AR D0-06AR	CPU 上の汎用通 信ポート	RS232C	設定例 24 (55 ページ)	結線図 5 (74 ページ)

1 通信中はプログラマ通信ポートから命令語プログラマをはずしてください。

2 サブ CPU バージョンが V1.439 以上の CPU をご使用ください。

# 接続構成

1:1 接続



• 1:n 接続



IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

S/11 - 7	使用可能ポート			
	RS-232C	RS-422/485(4 線式 )	RS-422/485(2 線式 )	
PS-2000B	COM1 <sup>1</sup> , COM2, COM3 <sup>1</sup> , COM4	-	-	
PS-3450A、PS-3451A	COM1, COM2 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	COM2 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	COM2 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	
PS-3650A、PS-3651A	COM1 <sup>1</sup>	-	-	
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 <sup>1</sup> , COM2 <sup>1</sup> , COM3 <sup>2</sup> , COM4	COM3 <sup>2</sup>	COM3 <sup>2</sup>	
PS-3711A	COM1 <sup>1</sup> , COM2 <sup>2</sup>	COM2 <sup>2</sup>	COM2 <sup>2</sup>	
PL-3000B	COM1 <sup>1</sup> <sup>2</sup> COM2 <sup>1</sup> , COM3, COM4	COM1 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	COM1 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	

1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、 以下のように設定してください。

ディップスイッチの設定:RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF <sup>1</sup>	予約(常時 OFF)	
2	OFF		
3	OFF	地后刀式 . KS-232C	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	DS(DTS) 白動制御エニド・無効	
10	OFF	- KS(K1S) 目動前御モート: 無効	

1 PS-3450A、PS-3451A を使用する場合のみ設定値を ON にする必要があります。

ディップスイッチの設定:RS-422/485(4線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	· 圣佳大学 - D.G. 400/407	
3	ON	地后刀式, KS-422/483	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	PS(PTS) 白動制御王 – ド・無効	
10	OFF		

ディップスイッチの設定: RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信方式:RS-422/485	
3	ON		
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	RS(RTS) 自動制御モード:有効	
10	ON		

# 2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

🏄 ブロジェクトファイルの新規作成 🛛 🗙					
GZ-ZCO	一接続機器				
	メーカー	光洋電子工業(株)	<b>•</b>		
	シリーズ	KOSTAC/DLシリーズ CCM SIO	•		
	□ システ	ムエリアを使用する	この接続機器のマニュアルを見る		
	接続方法				
	ポート	COM1			
			18661至1770/19		
展	3 ( <u>B</u> )	通信設定 ロジック画面作成	ベース画面作成キャンセル		

設定項目	設定内容
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「光洋電子工業㈱」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「KOSTAC/DLシ リーズ CCM SIO」を選択します。 「KOSTAC/DL シリーズ CCM SIO」で接続できる接続機器はシステム構成で確認 してください。 <sup>(PP)</sup> システム構成(3ページ)
システムエリアを使田	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の 表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトア クセス方式専用)」
する	この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「5.14.6[システム設定ウィンドウ] の設定ガイド [本体設定]の設定ガイド システムエリア設定」
	イド システムエリア設定
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。

# 3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

# 3.1 設定例 1

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1	
概要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 光洋電子工業(株)	シリーズ KOSTAC/DLシリーズ CCM SIO ポート COM1
文字列データモード 1	<u>w</u>
通信設定	
通信方式 • R	S232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)
通信速度 1920	0 -
データ長 07	© 8
パリティ 0 な	し 〇 偶数
ストップビット 💽 1	C 2
フロー制御 〇 な	U © ER(DTR/CTS) © XON/XOFF
タイムアウト 3	(sec)
リトライ 2	
送信ウェイト 🛛	(ms)
PT (100	C 100
RI/ VOC (● R RS232Cの場合、9番ピック	I U VUU €RI(入力)にするか)/CC(5)/雷源供給)
にするかを選択できます。う	ジタル製RS232Cアイソレーションユニッ 漆 選択してください。
	2.2温がらていたている
機器別設定 接結可能分散 16分 国際	
接続可能音数 10音 100音 No. 機器名	設定
👗 1 🛛 PLC1	IIII シリーズ=KOSTAC SG/SU/SZシリーズ,局番号=1

#### 機器設定

💰 個別機器設	Ê X
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ 💽
シリーズを変更し; 認してください。	と場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定はリンク I/F ユニット側面のディップスイッチで行ないます。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

# MEMO ・ コネクタ CN2 を使用しない場合は、必ずショートプラグ を 232C DISABLE に切換 えてください。

#### 設定用ディップスイッチ SW1

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	ON	
2	OFF	
3	OFF	
4	OFF	子局番号:1
5	OFF	
6	OFF	
7	OFF	
8	OFF	Peer to Peer 設定:1 対 n モード
9	OFF	マスタ/スレープ設定:スレーブ

# 設定用ディップスイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	ON	
2	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps
3	ON	
4	ON	パリティの有/無:有(奇数)
5	OFF	自己診断モード: OFF
6	OFF	ターンアラウンドディレー:なし
7	OFF	広 茨 遅 延 時 思 ・ 0 mg
8	OFF	1211月11月11日1115
9	OFF	伝送モード:HEX モード

3.2 設定例 2

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

<u>該更</u>

#### 機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ
シリーズを変更した場 認してください。	合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🗄
	初期設定
	OK((2) キャンセル

通信設定はリンク I/F ユニット側面のディップスイッチおよびショートプラグで行ないます。設定を 行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを 参照してください。

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	ON	
2	OFF	
3	OFF	
4	OFF	子局番号:1
5	OFF	
6	OFF	
7	OFF	
8	OFF	Peer to Peer 設定:1 対 n モード
9	OFF	マスタ/スレーブ設定:スレーブ

# 設定用ディップスイッチ SW1

#### 設定用ディップスイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	ON	
2	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps
3	ON	
4	ON	パリティの有/無:有(奇数)
5	OFF	自己診断モード:OFF
6	OFF	ターンアラウンドディレー:なし
7	OFF	広ダ遅延時間・0~~
8	OFF	心含连延时间,0 ms
9	OFF	伝送モード:HEX モード

ショートプラグ

ショートプラグ	設定内容
232C ENABLE	通信方式:RS232C

3.3 設定例 3

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概要	Ē .				接続機器変更
	メーカー 光洋電子工	業(株)	シリーズ KOSTA	AC/DLシリーズ CCM SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 変更			
通信	設定				
	通信方式	C RS232C	C RS422/485(2線式)	● RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	<b>•</b>		
	データ長	O 7	© 8		
	パリティ	○ なし	○ 偶数	● 奇数	
	ストップビット	● 1	C 2		
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 📑 🤅	ec)		
	リトライ	2 :			
	送信ウェイト	0 🗄 (	ns)		
Γ	RI / VCC	© RI	O VOC		
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき トを使用する場合は	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製RI 、VCCを選択して	するかVCCはV電源供給 52320アイソレーションユニ ください。	) ッ 初期設定	
機器	影殿定				
	接続可能台数 16台	100			
	No. 機器名		設定 	STAC SG/SU/SZシリーズ,局番号:	=1

# 機器設定

💰 個別機器設定	<u>.</u>	ĸ
PLC1		
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ	
シリーズを変更した 認してください。	場合は、すでに使用されているアドレスを再確	
局番号	1	
	初期設定	
	OK(Q) キャンセル	

通信設定はリンク I/F ユニット側面のディップスイッチおよびショートプラグで行ないます。設定を 行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを 参照してください。

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	ON	
2	OFF	
3	OFF	
4	OFF	子局番号:1
5	OFF	
6	OFF	
7	OFF	
8	OFF	Peer to Peer 設定:1 対 n モード
9	OFF	マスタ/スレーブ設定:スレーブ

## 設定用ディップスイッチ SW1

#### 設定用ディップスイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	ON	
2	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps
3	ON	
4	ON	パリティの有/無:有(奇数)
5	OFF	自己診断モード:OFF
6	OFF	ターンアラウンドディレー:なし
7	OFF	広ダ遅延時間・0~~
8	OFF	心含连延时间,0 ms
9	OFF	伝送モード:HEX モード

ショートプラグ

ショートプラグ	設定内容
232C DISABLE	通信方式:RS422

3.4 設定例 4

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

<u>該更</u>

# 機器設定

💣 個別機器部	iz ×
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZジリーズ  ・
シリースを変更し 認してください。	た場合は、すぐに使用されているアドレスを再催
局番号	1
	初期設定
	OK(0) キャンセル

通信設定は CPU ユニットのディップスイッチで行ないます。局番設定は命令語プログラマ(S-01P) を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容	
SW1	ON	通信方式:RS232C	
SW2	OFF	CCM 局番設定:有効	
SW3	ON	  ボーレート伝送速度・10 200 bpg	
SW4	ON	$N = V = \Gamma \square \square$	

 
 MEMO
 ・ SW2 を ON にすると、伝送モードが ASCII モードとなるため、通信が不可能となり ます。必ず OFF にして CCM 局番と伝送モードを設定してください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、エンタキーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

MEMO	• 表示器で設定した局番に合わせてください。	
------	------------------------	--

3 伝送モードを「HEX」に設定し、エンタキーを押します。

3.5 設定例 5

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概要	Ē				接続機器変更
	メーカー 光洋電子エ	業(株)	シリーズ (KOS)	TAC/DLシリーズ CCM SIO	ポート   COM1
	文字列データモード	1 変更			
通信	調定				
	通信方式	C RS232C	C RS422/485(2線式	代)	
	通信速度	19200	•		
	データ長	O 7	© 8		
	パリティ	○ なし	〇 偶数	⊙ 奇数	
	ストップビット	I 1	O 2		
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 🕂 6	sec)		
	リトライ	2 🗄			
	送信ウェイト	p 📑 (	ms)		
	RI / VCC	© RI	O VOC		
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき トを使用する場合は	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製Ri た VCCを選択して	するか VCC (5 V電源供 5232C アイソレーションコ ください。	給) ニッ 知道服会会	
-1112.12				TUMIEXAE	
1成石	ablia双疋   接続可能台数  16台	· 163			
	No. 機器名	40	設定		
	A PLC1		「」シリーズ=Ki	OSTAC SG/SU/SZシリーズ,局番号	=1

#### 機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ
シリーズを変更した: 認してください。	場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🗄
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定は CPU ユニットのディップスイッチで行ないます。局番設定は命令語プログラマ(S-01P) を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容	
SW1	OFF	通信方式:RS422	
SW2	OFF	CCM 局番設定:有効	
SW3	ON	ボートー ト (	
SW4	ON	$N = V = \Gamma \square \square$	

 
 MEMO
 ・ SW2 を ON にすると、伝送モードが ASCII モードとなるため、通信が不可能となり ます。必ず OFF にして CCM 局番と伝送モードを設定してください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、エンタキーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

МЕМО	• 表示器で設定した局番に合わせてください。	
------	------------------------	--

3 伝送モードを「HEX」に設定し、エンタキーを押します。

3.6 設定例 6

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概要	Ē				接続機器変更
	メーカー 光洋電子工	業(株)	シリーズ (KOS)	TAC/DLシリーズ CCM SIO	ポート   COM1
	文字列データモード	1 変更			
通信	設定				
	通信方式	RS232C	C RS422/485(2線式	代) C RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•		
	データ長	O 7	© 8		
	パリティ	○ なし	○ 偶数	• 奇数	
	ストップビット	① 1     ③     1	O 2		
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β <u>÷</u> 6	sec)		
	リトライ	2 🗄			
	送信ウェイト	p 🕂 (	ms)		
Γ	RI / VCC	I RI	C VCC		
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき トを使用する場合は	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製Ri t、VCCを選択して	するかVCCはV電源供 5232Cアイソレーションユ ください。	給) ニッ 初期設定	
機器	<b></b>				
	接続可能台数 16台		=~		
	1 PLC1		====================================	OSTAC SG/SU/SZシリーズ,局番号	=1

#### 機器設定

🏄 個別機器影	iz ×
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ 💽
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを <b>再確</b>
局番号	1 🚊
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定はリンク I/F ユニット前面のロータリスイッチおよび背面のディップスイッチで行ないます。 設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュ アルを参照してください。

#### 局番設定用ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	設定内容
× 10	0	接続機器の局番(十の位)
× 1	1	接続機器の局番(一の位)

#### MEMO • 表示器で設定した局番に合わせてください。

# 設定用ディップスイッチ SW4

ディップスイッチ	設定	設定内容		
1	ON			
2	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps		
3	ON			
4	ON	パリティの有/無:有(奇数)		
5	OFF	自己診断モード:OFF		
6	OFF			
7	OFF	応答遅延時間:0ms		
8	OFF			

#### 設定用ディップスイッチ SW5

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	OFF	Peer to Peer 設定:1 対 n モード
2	OFF	マスタ/スレープ設定:スレーブ
3	OFF	タイムアウト有無設定:通常動作モード
4	OFF	伝送モード:HEX モード

3.7 設定例 7

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器	1						
概要					接続機器変更		
×-	カー 光洋電子工	業(株)		TAC/DLシリーズ CCM SIO	ポート COM1		
文明	字列データモード	1 変更					
通信設定	Ē						
通信	言方式	C RS232C	〇 RS422/485(2線;	式) • RS422/485(4線式)			
通信	言速度	19200	•				
デー	-タ長	0.7	<b>⊙</b> 8				
739	ティ	○ なし	○ 偶数	● 奇数			
スト	ップビット	€ 1	C 2				
70	一制御	○ なし	● ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF			
<u>ছ</u> িন	<b>ム</b> アウト	β <u>÷</u> (s	ec)				
U He	<del>5</del> 1	2 🗄					
送付	言ウェイト	р 🚊 (л	ns)				
RI	/ VCC	© RI	C VCC				
R	S232Cの場合、9番	キビンをRI(入力)に	するかVCC(5V電源供	給)			
	にするができます。テンダル装ん32320アイシレーションユニサ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定						
機器別設定							
接続	売可能台数 16台	1					
	No. 機器名						
க்	I IPLC1		「シリーズ=K	OSTAC SG/SU/SZシリーズ,局番	F亏=1		

#### 機器設定

💣 個別機器部	iz ×
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ 🗨
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定はリンク I/F ユニット前面のロータリスイッチおよび背面のディップスイッチで行ないます。 設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュ アルを参照してください。

#### 局番設定用ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	設定内容
× 10	0	接続機器の局番(十の位)
× 1	1	接続機器の局番(一の位)

#### MEMO • 表示器で設定した局番に合わせてください。

# 設定用ディップスイッチ SW4

ディップスイッチ	設定	設定内容		
1	ON			
2	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps		
3	ON			
4	ON	パリティの有/無:有(奇数)		
5	OFF	自己診断モード:OFF		
6	OFF			
7	OFF	応答遅延時間:0ms		
8	OFF			

#### 設定用ディップスイッチ SW5

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	OFF	Peer to Peer 設定:1 対 n モード
2	OFF	マスタ/スレープ設定:スレーブ
3	OFF	タイムアウト有無設定:通常動作モード
4	OFF	伝送モード:HEX モード

3.8 設定例 8

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機	幾器1						
概要					接続機器変更		
	メーカー 光洋電子工	業(株)	シリーズ   KOS	TAC/DLシリーズ COM SIO	ポート   COM1		
	文字列データモード	1 変更					
通信	設定						
	通信方式	RS232C	C RS422/485(2線式	代) C RS422/485(4線式)			
	通信速度	19200	•				
	データ長	O 7	© 8				
	パリティ	○ なし	〇 偶数	● 奇数			
	ストップビット	1     1	O 2				
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	O XON/XOFF			
	タイムアウト	β 🚊 (	sec)				
	リトライ	2 🔅					
	送信ウェイト	0 🗄 (	ms)				
	RI / VCC	⊙ RI	C VCC				
	RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCCGV電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定						
機器	機器別設定						
	接続可能台数 16台	100	= 1,				
	No. 機器名		設定 シリーズ=K	OSTAC SG/SU/SZシリーズ,局番号	=1		

機器設定

💣 個別機器設:	ê 🛛 🗡
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ
シリーズを変更した 認してください。	き場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🗄
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定は CPU ユニットのディップスイッチで行ないます。局番設定は命令語プログラマ(S-01P) を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容		
SW1	任意	電池モード:システムに合わせてください。		
SW2	OFF	CCM 局番設定:有効		
SW3	ON	ボートー ト (		
SW4	ON	$\mathbf{N} = \mathbf{V} = \mathbf{V} \mid \Delta \mathbf{\Sigma} \mathbf{K} \mathbf{E} \cdot 19,200$ ops		

 
 MEMO
 ・ SW2 を ON にすると、伝送モードが ASCII モードとなるため、通信が不可能となり ます。必ず OFF にして CCM 局番と伝送モードを設定してください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、エンタキーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

МЕМО	•	表示器で設定した局番に合わせてください。
------	---	----------------------

- 3 伝送モードを「HEX」に設定し、エンタキーを押します。
- 4 パリティを奇数 (ODD) に設定し、エンタキーを押します。

3.9 設定例 9

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1						
概要	Ē				接続機器変更		
	メーカー 光洋電子エ	業(株)	シリーズ (KOS)	TAC/DLシリーズ CCM SIO	ポート   COM1		
	文字列データモード	1 変更					
通信	調定						
	通信方式	C RS232C	C RS422/485(2線式	代)			
	通信速度	19200	•				
	データ長	O 7	© 8				
	パリティ	○ なし	〇 偶数	⊙ 奇数			
	ストップビット	I 1	O 2				
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF			
	タイムアウト	β 🕂 6	sec)				
	リトライ	2 🗄					
	送信ウェイト	p 📑 (	ms)				
	RI / VCC	© RI	O VOC				
	RS232Cの場合、9番ピンをRU(入力)にするかVCC伝V電源供給) (こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。						
-1112.12							
1成石	ablia双疋   接続可能台数  16台	· 163					
	No. 機器名	40	設定				
	A PLC1		「」シリーズ=Ki	OSTAC SG/SU/SZシリーズ,局番号	=1		

#### 機器設定

💣 個別機器器	ita 🗙 🗙
PLC1	
シリーズ シリーズを変更し	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ ▼ た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
認してくたきい。 局番号	
	OK(Q) キャンセル

通信設定は CPU ユニットのディップスイッチで行ないます。局番設定は命令語プログラマ(S-01P) を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容		
SW1	任意	電池モード:システムに合わせてください。		
SW2	OFF	CCM 局番設定:有効		
SW3	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps		
SW4	ON			

 
 MEMO
 ・ SW2 を ON にすると、伝送モードが ASCII モードとなるため、通信が不可能となり ます。必ず OFF にして CCM 局番と伝送モードを設定してください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、エンタキーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

МЕМО	•	表示器で設定した局番に合わせてください。
------	---	----------------------

- 3 伝送モードを「HEX」に設定し、エンタキーを押します。
- 4 パリティを奇数 (ODD) に設定し、エンタキーを押します。

3.10 設定例 10

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	(終器1)						
概要	Į.				接続機器変更		
	メーカー 光洋電子工	業(株)	シリーズ   KOS	シリーズ KOSTAC/DLシリーズ CCM SIO			
	文字列データモード	1 変更					
通信	設定						
	通信方式	RS232C	C RS422/485(2線式	代) C RS422/485(4線式)			
	通信速度	19200	•				
	データ長	O 7	© 8				
	パリティ	○ なし	〇 偶数	● 奇数			
	ストップビット	⊙ 1	O 2				
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF			
	タイムアウト	β 🚊 🤅	ec)				
	リトライ	2 :					
	送信ウェイト	0 🗄 (	ns)				
Γ	RI / VCC	• RI	C VCC				
	RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCCGV電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定						
機器	別設定						
	接続可能台数 16台	111	= 1,				
	No. 1機研名			OSTAC SG/SU/SZシリーズ,局番号	=1		

機器設定

💰 個別機器器	ita 🗡
PLC1	
シリーズ シリーズを変更し 認してください。	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ ▼ た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 😑
	初期設定

通信設定は CPU ユニットのディップスイッチで行ないます。局番設定は命令語プログラマ(S-01P) を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容		
SW1	任意	電池モード:システムに合わせてください。		
SW2	OFF	CCM 局番設定:有効		
SW3	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps		
SW4	ON			

 
 MEMO
 ・ SW2 を ON にすると、伝送モードが ASCII モードとなるため、通信が不可能となり ます。必ず OFF にして CCM 局番と伝送モードを設定してください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、エンタキーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

МЕМО	•	表示器で設定した局番に合わせてください。
------	---	----------------------

- 3 伝送モードを「HEX」に設定し、エンタキーを押します。
- 4 パリティを奇数 (ODD) に設定し、エンタキーを押します。

3.11 設定例 11

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

器変更						
ドを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定						
機器別設定						

#### 機器設定

💣 個別機器談	iz ×
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定は CPU ユニットのディップスイッチで行ないます。局番設定は命令語プログラマ(S-01P) を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容		
SW1	任意	電池モード:システムに合わせてください。		
SW2	OFF	CCM 局番設定:有効		
SW3	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps		
SW4	ON			

 
 MEMO
 ・ SW2 を ON にすると、伝送モードが ASCII モードとなるため、通信が不可能となり ます。必ず OFF にして CCM 局番と伝送モードを設定してください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、エンタキーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

MEMO	• 表示器で設定した局番に合わせてください。	
------	------------------------	--

- 3 伝送モードを「HEX」に設定し、エンタキーを押します。
- 4 パリティを奇数 (ODD) に設定し、エンタキーを押します。

3.12 設定例 12

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概要	Ē				接続機器変更
	メーカー 光洋電子工	業(株)	シリーズ (KOS)	TAC/DLシリーズ CCM SIO	ポート   COM1
	文字列データモード	1 変更			
通信	設定				
	通信方式	RS232C	C RS422/485(2線式	代) C RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	<b>•</b>		
	データ長	O 7	© 8		
	パリティ	○ なし	○ 偶数	• 奇数	
	ストップビット	① 1     ③     1	O 2		
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β <u>÷</u> 6	sec)		
	リトライ	2 🗄			
	送信ウェイト	p 🕂 (	ms)		
Γ	RI / VCC	I RI	C VCC		
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき トを使用する場合は	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製Ri t、VCCを選択して	するかVCCはV電源供 5232Cアイソレーションユ ください。	給) ニッ 初期設定	
機器	<b></b>				
	接続可能台数 16台		=~		
	1 PLC1		====================================	OSTAC SG/SU/SZシリーズ,局番号	=1

#### 機器設定

💰 個別機器設計	Ê X
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ 💽
シリーズを変更した 認してください。	場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 📑
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定は CPU ユニットのディップスイッチで行ないます。局番設定は命令語プログラマ(S-01P) を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容	
SW1	任意	電池モード:システムに合わせてください。	
SW2	OFF	CCM 局番設定:有効	
SW3	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps	
SW4	ON		

 
 MEMO
 ・ SW2 を ON にすると、伝送モードが ASCII モードとなるため、通信が不可能となり ます。必ず OFF にして CCM 局番と伝送モードを設定してください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、エンタキーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

МЕМО	•	表示器で設定した局番に合わせてください。
------	---	----------------------

- 3 伝送モードを「HEX」に設定し、エンタキーを押します。
- 4 パリティを奇数 (ODD) に設定し、エンタキーを押します。

3.13 設定例 13

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概要	Ē				接続機器変更
	メーカー 光洋電子工	業(株)		TAC/DLシリーズ CCM SIO	ポート   COM1
	文字列データモード	1 変更			
通信	調定				
	通信方式	C RS232C	〇 RS422/485(2線)	代) ⓒ RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•		
	データ長	O 7	© 8		
	パリティ	○ なし	○ 偶数	<ul> <li>奇数</li> </ul>	
	ストップビット	€ 1	O 2		
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 🚊 🤅	sec)		
	リトライ	2 🗄			
	送信ウェイト	0 🗄 6	ms)		
	RI / VCC	© RI	C VOC		
	RS232Cの場合、94 にするかち選択でき	野ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	するかVCCにV電源供	給)	
	トを使用する場合は	L、VOCを選択して	ください。	初期設定	
機器	影験定				
	接続可能台数 16台				
	No. 機器名			이야지은 응산/인터/연구에도 카르루루	1
	M PLOT			03180 30/30/32シリー人,同番ち	-1

#### 機器設定

💣 個別機器部	iz ×
PLC1	
シリーズ シリーズを変更し 認してください。	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ ▼ た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
	OK((の) キャンセル

通信設定は CPU ユニットのディップスイッチで行ないます。局番設定は命令語プログラマ(S-01P) を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容	
SW1	任意	電池モード:システムに合わせてください。	
SW2	OFF	CCM 局番設定:有効	
SW3	ON	- ボーレート伝送速度:19,200 bps	
SW4	ON		

 
 MEMO
 ・ SW2 を ON にすると、伝送モードが ASCII モードとなるため、通信が不可能となり ます。必ず OFF にして CCM 局番と伝送モードを設定してください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、エンタキーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

MEMO	• 表示器で設定した局番に合わせてください。	
------	------------------------	--

- 3 伝送モードを「HEX」に設定し、エンタキーを押します。
- 4 パリティを奇数 (ODD) に設定し、エンタキーを押します。

3.14 設定例 14

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	熊器1				
概要	· ·				接続機器変更
	メーカー 光洋電子工	業(株)		TAC/DLシリーズ CCM SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 変更			
通信	設定				
	通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線式)	代) C RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•		
	データ長	0.7	<b>⊙</b> 8		
	パリティ	○ なし	○ 偶数	● 奇数	
	ストップビット	⊙ 1	C 2		
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 🔆 🤅	sec)		
	リトライ	2 🔅			
	送信ウェイト	0 🗄 6	ns)		
Γ	RI / VCC	• RI	C VCC		
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき トを使用する場合は	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製Ri に、VCCを選択して	するかVCC(5V電源供 2332Cアイソレーションコ ください。	給) ニッ 初期設定	
機器	別設定				
	接続可能台数 16台	100	= 0		
	No. 機器名		該定 シリーズ=Ki	OSTAC SG/SU/SZシリーズ,局番号	=1

#### 機器設定

💣 個別機器	設定 🗙
PLC1	
シリーズ シリーズを変更!	KOSTAC SQ/SU/SZシリーズ ▼ 、 、 、 、 、 すでに使用されているアドレスを再確
認してください。 局番号	1
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定は命令語プログラマ(S-01P)を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源 を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

MEMO ・ 設定時はモード切替スイッチを TERM にしてください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、ENT キーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

MEMO • 表示器で設定した局番に合わせてください。

- 3 伝送モードを「HEX」に設定し、ENT キーを押します。
- 4 パリティを奇数 (ODD) に設定し、ENT キーを押します。
- 5 伝送速度を 19200 に設定し、ENT キーを押します。
3.15 設定例 15

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概	更				接続機器変更
	メーカー 光洋電子エ	業(株)		TAC/DLシリーズ CCM SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 変更			
270	-=n				
10月1		~	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	通信方式	O RS232C	○ RS422/485(2線)	た) • RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•		
	データ長	O 7	<b>©</b> 8		
	パリティ	○ なし	〇 偶数	⊙ 奇数	
	ストップビット	⊙ 1	O 2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 📑 (s	sec)		
	リトライ	2 :			
	送信ウェイト	p 🚊 (r	ms)		
[	RI / VCC	© RI	C VCC		
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき トを使用する場合は	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製RS L、VCCを選択して	するかVCC/5V電源供 5232Cアイソレーションコ ください。	給) ニッ 477世紀へ会	
				*//共指文定	
機	器別設定	_			
	接続可能台数 16台	111	=1		
	No. 機器名			이야지아 안하네는가 몸꽃을 1	
	A PLOI			USTAU SRUUTA,同番方=I	

機器設定

💰 個別機器副	定 ×
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SR≫J-Z
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再催
局番号	
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定はリンク I/F ユニット側面のディップスイッチで行ないます。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

# 設定用ディップスイッチ SW1

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	ON	  ボーレート伝送速度・10 200 hpg
2	ON	小一レー     山本歴度 · 19,200 0ps
3	OFF	パリティの有/無:無
4	ON	自己診断モード: OFF
5	OFF	ターンアラウンドディレー:なし
6	OFF	電源投入時モード:システムに合わせてください。
7	OFF	常時 OFF
8	OFF	伝送モード:HEX モード

## 設定用ディップスイッチ SW2

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	ON	
2	OFF	
3	OFF	
4	OFF	子局番号:1
5	OFF	
6	OFF	
7	OFF	
8	OFF	常時 OFF

3.16 設定例 16

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	態器1					
概要	Ī				接続機器変更	
	メーカー 光洋電子工	業(株)	シリーズ   KOS	TAC/DLシリーズ CCM SIO	ポート   COM1	
	文字列データモード	1 変更				
通信	設定					
	通信方式	RS232C	C RS422/485(2線式	代) C RS422/485(4線式)		
	通信速度	19200	<b>•</b>			
	データ長	O 7	© 8			
	パリティ	○ なし	〇 偶数	• 奇数		
	ストップビット	● 1	C 2			
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF		
	タイムアウト	β 🔆 🤅	sec)			
	リトライ	2 🔅				
	送信ウェイト	0 🗄 (	ms)			
	RI / VCC	• RI	C VCC			
	RS232Cの場合、9種 にするかを選択でき トを使用する場合は	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製Ri に、VCCを選択して	するかVCC(5V電源供 5232Cアイソレーションコ ください。	給) ニッ 初期設定		
機器	·····································					
	接続可能台数 16台	100	= 1			
	No. 機器名		設定 シリーズ=D	L-205/DL-405シリーズ局番号=1		

#### 機器設定

💰 個別機器	設定 🗙
PLC1	
シリーズ	DL-205/DL-405シリーズ
シリーズを変更  認してください。	」た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	
	初期設定
	OK( <u>O</u> ) キャンセル

通信設定は命令語プログラマ(S-01P)を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源 を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

MEMO ・ 設定時はモード切替スイッチを TERM にしてください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、ENT キーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

MEMO • 表示器で設定した局番に合わせてください。

- 3 伝送モードを「HEX」に設定し、ENT キーを押します。
- 4 パリティを奇数 (ODD) に設定し、ENT キーを押します。
- 5 伝送速度を 19200 に設定し、ENT キーを押します。

3.17 設定例 17

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	懇器1					
概要	ŗ				接続機器変更	
	メーカー 光洋電子工	業(株)	シリーズ   KOST	FAC/DLシリーズ COM SIO	ポート COM1	
	文字列データモード	1 <u>変更</u>				
通信	設定					
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	♥ ● RS422/485(4線式)		
	通信速度	19200	•			
	データ長	O 7	© 8			
	パリティ	○ なし	○ 偶数	● 奇数		
	ストップビット	€ 1	O 2			
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF		
	タイムアウト	β <u>÷</u> (s	ec)			
	リトライ	2 📑				
	送信ウェイト	р 🚊 (п	ns)			
	RI / VCC	© RI	O VOC			
	RS232Cの場合、9番 にするかを選択できま トを使用する場合は	新ピンをRI(入力)に ます。デジタル製RS 、VCCを選択してく	するか VCC/5V電源供/ 3232Cアイソレーションユ (ださい。	治) ニッ 初期設定		
機器	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
	接続可能台数 16台	THE .	=1			
	NO. 1機器名		= シリーズ=DI	L-205/DL-405シリーズ,局番号=1		

#### 機器設定

💰 個別機器器	iz ×
PLC1	
シリーズ	DL-205/DL-405シリーズ
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	
	初期設定
	OK((の) キャンセル

通信設定は命令語プログラマ(S-01P)を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源 を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

MEMO ・ 設定時はモード切替スイッチを TERM にしてください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、ENT キーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

MEMO • 表示器で設定した局番に合わせてください。

- 3 伝送モードを「HEX」に設定し、ENT キーを押します。
- 4 パリティを奇数 (ODD) に設定し、ENT キーを押します。
- 5 伝送速度を 19200 に設定し、ENT キーを押します。

3.18 設定例 18

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1					
概要				接続機器変更	
メーカー 光洋電子工業	(株)	シリーズ KOST	AC/DLシリーズ COM SIO	ポート COM1	
文字列データモード 1	 <u>変更</u>			,	
通信設定					
通信方式 💽	RS232C (	○ RS422/485(2線式	) C RS422/485(4線式)		
通信速度 1	9200	-			
データ長	)7 <b>(</b>	• 8			
パリティ 🔿	)なし (	〇 偶数	• 奇数		
ストップビット 🧿	)1 (	0 2			
フロー制御	こなし (	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF		
タイムアウト 🛛 🛛	🕂 (sec	c)			
UN <del>D</del> 1 🛛					
送信ウェイト 🛛	🕂 (ms	)			
RI / VCC (•	RI (				
RS232Cの場合、9番ビ にするかを選択できます トを使用する場合は、\	ンをRI(入力)にす 。デジタル製RS2( /CCを選択してくだ	るかVCC低V電源供給 32Cアイソレーションユ ざい。	â) ニッ 初期設定		
機器別設定					
接続可能台数 16台 📗		= 0			
No. 1 (1) No. 1		設定 シリーズ=DL	-205/DL-405シリーズ,局番号=1		

## 機器設定

💰 個別機器器	ita 🗙
PLC1	
シリーズ	DL-205/DL-405シリーズ
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🗄
	初期設定
	OK((0) キャンセル

通信設定はリンク I/F ユニット前面のロータリスイッチおよび背面のディップスイッチで行ないます。 設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュ アルを参照してください。

## 局番設定用ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	設定内容
× 10	0	接続機器の局番(十の位)
× 1	1	接続機器の局番(一の位)

## MEMO • 表示器で設定した局番に合わせてください。

# 設定用ディップスイッチ SW4

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	ON	
2	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps
3	ON	
4	ON	パリティの有/無:有(奇数)
5	OFF	自己診断モード:OFF
6	OFF	
7	OFF	応答遅延時間:0ms
8	OFF	

#### 設定用ディップスイッチ SW5

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	OFF	Peer to Peer 設定:1 対 n モード
2	OFF	マスタ/スレープ設定:スレーブ
3	OFF	タイムアウト有無設定:通常動作モード
4	OFF	伝送モード:HEX モード

3.19 設定例 19

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概理	Ē I				接続機器変更
1.72.2	- メーカー 洸洋雷子丁	業(株)		TAC/DLシリーズ CCM SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 麥面			<u> </u>
	ATMD SC P				
通	設定				
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	代)  ● RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•		
	データ長	O 7	© 8		
	パリティ	○ なし	○ 偶数	● 奇数	
	ストップビット	⊙ 1	C 2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 🔆 (s	ec)		
	リトライ	2 🔅			
	送信ウェイト	р 🚊 (r	ms)		
[	RI / VCC	© RI	C VCC		
	RS232Cの場合、9番	野ピンをRI(入力)に ます。 デジャル 制いの	するかVCC(5V電源供)	給)	
	トを使用する場合は	より。プラダル製品 に、VCCを選択して	っとっとし パイ クレーションユ ください。	初期設定	
機器	影験定				
		10.0			
	No. 機器名		設定		
	👗 1 PLC1		シリーズ=D	L-205/DL-405シリーズ,局番号=1	

#### 機器設定

💰 個別機器副	ita 🗙
PLC1	
シリーズ	DL-205/DL-405シリーズ
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🚊
	初期設定
	OK((2) キャンセル

通信設定はリンク I/F ユニット前面のロータリスイッチおよび背面のディップスイッチで行ないます。 設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュ アルを参照してください。

### 局番設定用ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	設定内容
× 10	0	接続機器の局番(十の位)
× 1	1	接続機器の局番(一の位)

## MEMO • 表示器で設定した局番に合わせてください。

# 設定用ディップスイッチ SW4

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	ON	
2	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps
3	ON	
4	ON	パリティの有/無:有(奇数)
5	OFF	自己診断モード:OFF
6	OFF	
7	OFF	応答遅延時間:0ms
8	OFF	

#### 設定用ディップスイッチ SW5

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	OFF	Peer to Peer 設定:1対nモード
2	OFF	マスタ/スレープ設定:スレーブ
3	OFF	タイムアウト有無設定:通常動作モード
4	OFF	伝送モード:HEX モード

3.20 設定例 20

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概要	Ē				接続機器変更
	メーカー 光洋電子工	業(株)	シリーズ   KOS	TAC/DLシリーズ COM SIO	ポート   COM1
	文字列データモード	1 変更			
通信	設定				
	通信方式	RS232C	〇 RS422/485(2線5	式) C RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•		
	データ長	O 7	© 8		
	パリティ	○ なし	○ 偶数	● 奇数	
	ストップビット	⊙ 1	C 2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 🔆 🤅	sec)		
	リトライ	2 🗄			
	送信ウェイト	0 🗄 (	ms)		
Γ	RI / VCC	• RI	C VCC		
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき トを使用する場合は	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製RI に、VCCを選択して	:するかVOC(5V電源供 5232Cアイソレーションコ ください。	:給) 2ニッ 初期設定	
機器	割設定				
	接続可能台数 16台	111			
	No. 機器名		設定	N _ 205 / DL _ 4053 JL _ 7" 昌来号1	
	M PLOT			1-2007 01-400 アリース,何世 ちー1	

#### 機器設定

💣 個別機器部	iz ×
PLC1	
シリーズ	DL-205/DL-405シリーズ 💽
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🗄
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定は CPU ユニットのディップスイッチで行ないます。局番設定は命令語プログラマ(S-01P) を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容		
SW1	任意	電池モード:システムに合わせてください。		
SW2	OFF	CCM 局番設定:有効		
SW3	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps		
SW4	ON			

 
 MEMO
 ・ SW2 を ON にすると、伝送モードが ASCII モードとなるため、通信が不可能となり ます。必ず OFF にして CCM 局番と伝送モードを設定してください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、エンタキーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

МЕМО	•	表示器で設定した局番に合わせてください。
------	---	----------------------

- 3 伝送モードを「HEX」に設定し、エンタキーを押します。
- 4 パリティを奇数 (ODD) に設定し、エンタキーを押します。

3.21 設定例 21

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1		
概要	Ē		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー 光洋電子コ	業(株)	シリーズ KOSTAC/DLシリーズ CCM SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通信	設定		
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)
	通信速度	19200	
	データ長	O 7	© 8
	パリティ	○ なし	<ul> <li>○ 偶数</li> <li>○ 奇数</li> </ul>
	ストップビット	I 1	C 2
	フロー制御	○ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	β <u>÷</u> 6	(sec)
	リトライ	2 🗄	
	送信ウェイト	p 🗄 (	(ms)
Γ	RI / VCC	© RI	C VCC
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製Ri たいCCを選択して	こするかVCCのV電源供給) S232Cアイソレーションユニッ グモディン
	「てにたけ」ものうの中心	い 100を進かして	
機器	<b>割設定</b>		
	- 接続可能台数 16台 No. 機器名		
	1 PLC1		📊 シリーズ=DL-205/DL-405シリーズ,局番号=1

# 機器設定

💣 個別機器部	iz ×
PLC1	
シリーズ	DL-205/DL-405シリーズ
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🗮
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定は CPU ユニットのディップスイッチで行ないます。局番設定は命令語プログラマ(S-01P) を使用して設定します。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	設定内容		
SW1	任意	電池モード:システムに合わせてください。		
SW2	OFF	CCM 局番設定:有効		
SW3	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps		
SW4	ON			

 
 MEMO
 ・ SW2 を ON にすると、伝送モードが ASCII モードとなるため、通信が不可能となり ます。必ず OFF にして CCM 局番と伝送モードを設定してください。

CCM 局番設定

- 1 メニュー 56を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、エンタキーを押します。
- 2 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、エンタキーを押します。

МЕМО	•	表示器で設定した局番に合わせてください。
------	---	----------------------

- 3 伝送モードを「HEX」に設定し、エンタキーを押します。
- 4 パリティを奇数 (ODD) に設定し、エンタキーを押します。

3.22 設定例 22

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概	更				接続機器変更
	メーカー 光洋電子エ	業(株)		TAC/DLシリーズ CCM SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 変更			
2番/	-=~				
1001		C 85232C	C DC/22/405/228=	() () DS400/405(4約=1)	
		10000		47 95 TV0422740034468347	
	1週1言1速度	119200	•		
	データ長	07	© 8		
	パリティ	○ なし	○ 偶数	● 奇数	
	ストップビット	1     1	C 2		
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 📑 🤅	sec)		
	リトライ	2 🗄			
	送信ウェイト	p 🗄 (r	ns)		
[	RI / VCC	© RI	n vec		
	RS232Cの場合、94	野ピンをRI(入力)に	するかVCC(5V電源供	給)	
	にするかを選択でき トを使用する場合は	ます。 デジタル 製RS に、VCCを選択して	52320アイソレーションユ ください。		
l				*//舟馆文正	
機	器別設定				
	接続可能台数 16台	100			
	No. 機器名			L 0052-UL 코 모셴므니	
				L=305ツリース,向番ち=1	

機器設定

💣 個別機器部	iz ×
PLC1	
シリーズ シリーズを変更し 認してください。	DL-305シリーズ ▼ を場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 初期設定
	OK((の) キャンセル

通信設定はリンク I/F ユニット側面のディップスイッチで行ないます。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

# 設定用ディップスイッチ SW1

ディップスイッチ	設定	設定内容	
1	ON	- ボート - ト	
2	ON	小一レー     山本歴度 · 19,200 0ps	
3	OFF	パリティの有/無:無	
4	ON	自己診断モード: OFF	
5	OFF	ターンアラウンドディレー:なし	
6	OFF	電源投入時モード:システムに合わせてください。	
7	OFF	常時 OFF	
8	OFF	伝送モード:HEX モード	

### 設定用ディップスイッチ SW2

ディップスイッチ	設定	設定内容
1	ON	
2	OFF	
3	OFF	
4	OFF	子局番号:1
5	OFF	
6	OFF	
7	OFF	
8	OFF	常時 OFF

3.23 設定例 23

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機構	器1						
概要					接続機器変更		
k	ーカー 光洋電子工業	業(株)		FAC/DLシリーズ COM SIO	ポート СОМ1		
文	マ字列データモード	1 <u>変更</u>					
通信設	定						
i	<b>鯂信方式</b>	• RS232C	○ RS422/485(2線式	t) C RS422/485(4線式)			
i	<b>通信速度</b>	19200	T				
デ	"一久長	0.7	© 8				
13	(リティ	○ なし	○ 偶数	● 奇数			
ス	、トップビット	⊙ 1	C 2				
7	口一制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF			
タ	ዛሬፖሳኑ	β <u>:</u> (s	ec)				
9	ŀ∋7	2 🗄					
这	き信ウェイト	0 🕂 (n	ns)				
R		• RI	C VCC				
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定							
機器別	機器別設定						
接	統可能台数 16台	THE .	=1				
1							

# 機器設定

🏄 個別機器影	ite 🗙 🗙
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ 💽
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定は命令語プログラマ(Z-20JP)で行ないます。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 メニュー 56 を選択します。[クリア][5][6][メニュー]と押し、ENT キーを押します。
- 2 プロトコルを「CCM2」に設定し、ENT キーを押します。
- 3 CCM 局番を入力します。[0][1] と押し、ENT キーを押します。

MEMO ・ 表示器で設定した局番に	合わせてください。
--------------------	-----------

4 伝送モードを「HEX」に設定し、ENT キーを押します。

- 5 伝送速度を 19200 に設定し、ENT キーを押します。
- 6 ストップビットを 1bit に設定し、ENT キーを押します。
- 7 パリティを奇数 (ODD) に設定し、ENT キーを押します。

3.24 設定例 24

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1						
概要	Ę		<u>接続機器変更</u>				
	メーカー 光洋電子工	業(株)	シリーズ KOSTAC/DLシリーズ CCM SIO ポート COM1				
	文字列データモード	1 <u>変更</u>					
诵信	設定						
×211	通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)				
	通信速度	19200	<b>•</b>				
	データ長	07	© 8				
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ● 奇数				
	ストップビット	● 1	C 2				
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)     C XON/XOFF				
	タイムアウト	β 🔆 («	(sec)				
	リトライ	2					
	送信ウェイト	0 🗄 6	(ms)				
Γ	RI / VCC	• RI	C VCC				
	RS232Cの場合、9種	番ピンをRI(入力)に	こするか VOC (5 V電源供給)				
	にするがを増加てきます。テンジル最内222Cアインレーンヨンユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期職定						
機器							
	接続可能台数 16台	The second					
	No. 機器名						
	▶ 「PLC1 IN ISING SU/SL/SL/SL/SL/SL/SL/SL/SL/SL/SL/SL/SL/SL/						

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

🏄 個別機器器	ita 🗙
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🚍
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

接続機器の設定

通信機器の通信設定は必要ありません。

ボーレート伝送速度および局アドレスは固定です。

また、パリティ、データ長、ストップビットも変更方法はありません。

3.25 設定例 25

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1					
概要					接続機器変更
メーカ	- 光洋電子工	業(株)	シリーズ KOS	TAC/DLシリーズ COM SIO	ポート COM1
文字列	川データモード	1 変更			
通信設定					
通信力	5式	RS232C	〇 RS422/485(2線)	式) 🔿 RS422/485(4線)	<del>(</del> )
通信》	速度	19200	•		
データ	長	0.7	© 8		
パリテ・	ŕ	○ なし	○ 偶数	• 奇数	
ストップ	<sup>9</sup> ビット	● 1	C 2		
70-	制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイム	アウト	3 🔆 (a	(sec)		
リトライ	r	2 🔅			
送信	לדיל	p 🗄 G	(ms)		
RI / V	/00	• RI	C VCC		
RS2	32Cの場合、9 <b>都</b> るかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	こするかVCC(5V電源供	(給)	
12.9 トを1	使用する場合は	、VCCを選択して	32320 パインレーション」 [ください。	エニック 初期語会	定
機器別設定	₽ ₽				
接続す	_ 可能台数 16台				
1	₩40. 機器名			OSTAC SC/SU/SZ244	<u> 목</u> ₩₽_1
<u>.</u>	IPLO1			USTAC SG/SU/SZ/29-X.	/同番方=1

機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ 💽
シリーズを変更した 認してください。	場合は、すでに使用されているアドレスを <mark>再確</mark>
局番号	1 🚊
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定はラダーソフト(DirectSOFT32-プログラミングバージョン4.0)で行ないます。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 ラダーソフト (DirectSOFT32)を起動し、接続機器とオンライン状態にします。
- 2 [PLC] メニューから [設定] [汎用通信ポート設定]を選択します。
- 3 [通信ポートの設定]ダイアログボックスで通信設定を以下のように行います。

項目	設定
ポート	ポート 2
プロトコル	CCM ネット ( DirectNET )
タイムアウト	500 ms
RTS on ディレイ時間	20 ms
局番	1
速度	19,200 bps
ストップビット	1
パリティ	奇数
データ形式	ヘキサ

4 設定完了後、[転送]をクリックし、設定内容を接続機器へ転送します。

3.26 設定例 26

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1		
概要	Ē		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー 光洋電子工	業(株)	シリーズ KOSTAC/DLシリーズ CCM SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 <u>変更</u>	
通信	調査		
2011	■■××⊂ 通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	
	デーカ馬	0.7	C 8
	ノ ジョン パリティ		○ 俚對 ○
	71774 フトップビット	6 1	
	スロップビット	0 to 1.	
	9162/7F		(sec)
	ットラ1 38/51 (1)		2 X
_	151言ワエイト	µ <u>⇒</u> (n	(ms)
	RI / VCC	💿 RI	O VOC
	RS232Cの場合、9番 にするかを選択できま	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製RS	にするかVCCなV電源供給) SS232Cアイソレーションフェッ
	ドを使用する場合は	、VCCを選択して	てださい。 初期間没定
機器	影殿定		
	接続可能台数 16台	Here .	
	No. 機器名		設定 
	M ' IFLOI		

機器設定

💰 個別機器設	定 ×
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ
シリーズを変更し 認してください。	た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🚊
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

通信設定はラダーソフト(DirectSOFT32-プログラミングバージョン4.0)で行ないます。設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 ラダーソフト (DirectSOFT32)を起動し、接続機器とオンライン状態にします。
- 2 [PLC] メニューから [設定] [汎用通信ポート設定]を選択します。
- 3 [通信ポートの設定]ダイアログボックスで通信設定を以下のように行います。

項目	設定
ポート	ポート 2
プロトコル	CCM ネット ( DirectNET )
タイムアウト	500 ms
RTS on ディレイ時間	20 ms
局番	1
速度	19,200 bps
ストップビット	1
パリティ	奇数
データ形式	ヘキサ

4 設定完了後、[転送]をクリックし、設定内容を接続機器へ転送します。

# 4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

# 4.1 GP-Pro EX での設定項目

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。



設定項目	設定内容		
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。		
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。		
データ長	データ長を選択します。		
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。		
ストップビット	ストップビット長を選択します。		
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。		
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。		

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0 ~ 255」で入力します。
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に 9 番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は、IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

# 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🟬 をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器	設定 🛛 🗙
PLC1	
シリーズ	KOSTAC SG/SU/SZシリーズ 💽
シリーズを変更 認してください。	」た場合は、すでに使用されているアドレスを再確
局番号	1 🚊
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

設定項目	設定内容		
シリーズ	接続機器のシリーズを選択します。		
局番号	接続機器の局番を「1 ~ 90」で入力します。		

4.2 オフラインモードでの設定

MEMO
• オフラインモードへの入り方や操作方法は保守 / トラブル解決ガイドを参照してく ださい。

参照:保守/トラブル解決ガイド「2.2オフラインモードについて」

通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
KOSTAC/DLシリー	ズ CCM SIO		[COM1]	Page 1/1
	通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップビット フロー制御	RS232C 19200 8 ● なし ● 1 FER(DTR/C	● 偶数 ● 2 TS) ■	☐ 〕 〕 う 奇数
	タイムアウト(®) リトライ 送信ウェイト(m®)		3 V A 2 V A 0 V A	
	終了		戻る	2007/06/14 15:59:47

設定項目	設定内容		
	接続機器と通信する通信方式を選択します。		
	<b>重要</b> 通信設定を行う場合 「通信方式」は表示器のシリアルインターフェイスの仕		
通信方式	様を確認し、正しく設定してください。		
	シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は 保証できません。		
	シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアルを参照してく ださい。		
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。		
データ長	データ長を選択します。		
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。		
ストップビット	ストップビット長を選択します。		
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。		

GP-Pro EX 機器接続マニュアル

設定項目	設定内容
	+×<111
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~ 255」で入力します。

# 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション	-	
KOSTAC/DLシリー	ズ CCM SIO		[COM1]	Page 1/1
接続	器名 PL	.01		
	シリーズ 局 <del>番号</del>	KOSTAC SG	i/SU/SZ <mark>シリーズ</mark> 1 ▼	
-	終了		戻る	2007/06/14 15:59:55

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [ PLC1 ])
シリーズ	接続機器のシリーズを表示します。
局番号	接続機器の局番を「1 ~ 90」で入力します。

# オプション設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。



設定項目	設定内容
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に 9 番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は、IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

# 5 結線図

以下に示す結線図と光洋電子工業㈱が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図 でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図1

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP ( COM1 ) IPC <sup>1</sup> PC/AT	自作ケーブル	ケーブル長: 15m 以内

RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。
 IPC の COM ポートについて (6ページ)

表示器側 D-Sub 9ピン(ソケット) 、			接続 -Sub 25ピン	機器側 ン(ソケット)	
	ピン	信号名		ピン	信号名
表示器	2	RD(RXD)		2	TXD
	3	SD(TXD)		3	RXD
	4	ER(DTR)		4	RTS
	5	SG		5	CTS
	7	RS(RTS)	$h \in \mathbb{N}_{+-}$	7	SG
	8	CS(CTS)	<b>↓</b> \\ <u>↓</u>		FG

結線図 2

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP <sup>1</sup> ( COM1 ) AGP3302B ( COM2 ) IPC <sup>2</sup>	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
	B 自作ケーブル	
GP <sup>1</sup> (COM2)	<ul> <li>(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li></ul>	ケーブル長: 600m 以内
	D (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
 GP IPC の COM ポートについて (6ページ)

- A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
   台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



## B. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



MEMO

使用しない +IN、-IN には終端抵抗 150Ω を接続してください。

• 1:n 接続の場合



- C.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株)デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



D.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



MEMO

使用しない +IN、-IN には終端抵抗 150Ω を接続してください。



## 結線図3

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP <sup>1</sup> ( COM1 ) AGP3302B ( COM2 ) IPC <sup>2</sup>	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ( COM2 )	С	<ul> <li>(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li></ul>	ケーブル長: 600m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



### B. 自作ケーブルを使用する場合



C.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合



MEMO • +RXD、-RXD には終端抵抗 150Ω を接続してください。
D.株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合



表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP ( COM1 ) IPC <sup>1</sup> PC/AT	自作ケーブル	ケーブル長: 15m 以内

RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。
 IPC の COM ポートについて (6ページ)

表示器側 D-Sub 9ピン(ソケット) ロー・ ロー・				接続 D-Sub 15ピ	機器側 'ン(プラグ)
	ピン	信号名	9-10 6	ピン	信号名
表示器	2	RD(RXD)	<hr/>	4	TXD
	3	SD(TXD)		3	RXD
	4	ER(DTR)		2	+ 5V
	5	SG		1	0V
	7	RS(RTS)	$h \in \{i\}$	5	RTS
	8	CS(CTS)	<mark>↓</mark> `····· <del>`</del> *	6	0V

#### 結線図 5

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP ( COM1 ) IPC <sup>1</sup> PC/AT	自作ケーブル	ケーブル長: 3m 以内

RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。

 『ア IPC の COM ポートについて (6ページ)



表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP <sup>1</sup> ( COM1 ) AGP-3302B ( COM2 ) IPC <sup>2</sup>	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li></ul>		
	自作ケー	ブル	
GP ( COM2 )	(株)デジタル製オン CA4-ADP( + (株)デジタル製コネクタ CA3-ADPI + 自作ケー	/ラインアダプタ DNL-01 7端子台変換アダプタ RM-01 ブル	ケーブル長: 600m 以内
	(株)デジタル製オン CA4-ADPC + 自作ケー	νラインアダプタ DNL-01 プル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「ア IPC の COM ポートについて (6ページ)

A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



МЕМО

+RXD、-RXD には終端抵抗 180Ω を接続してください。

### B. 自作ケーブルを使用する場合



 C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



МЕМО

+RXD、-RXD には終端抵抗 180Ω を接続してください。

D.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合



表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP <sup>1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) IPC <sup>2</sup>	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ( COM2 )	С	<ul> <li>(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長: 600m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



МЕМО

+RXD、-RXD には終端抵抗 180Ω を接続してください。

#### B. 自作ケーブルを使用する場合



C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



**MEMO** • +RXD、-RXD には終端抵抗 180Ω を接続してください。

D.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合



表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP ( COM1 ) IPC <sup>1</sup> PC/AT	自作ケーブル	ケーブル長: 15m 以内

1 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 <sup>Cの</sup> IPC の COM ポートについて(6ページ)

表示器側 D-Sub 9ピン(ソケット) 、 高					接続機器側 高密度 15ピン(プラグ)	
	ピン	信号名		ピン	信号名	
	2	RD(RXD)	← / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	2	TXD	
表示器	3	SD(TXD)		3	RXD	
	4	ER(DTR)		4	RTS	
	5	SG	<u> </u>	5	CTS	
	7	RS(RTS)	$h \setminus \sum_{i=1}^{n}$	7	SG	
	8	CS(CTS)	▲ \		FG	

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP <sup>1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) IPC <sup>2</sup>	А	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
	В	自作ケーブル	
GP ( COM2 )	С	<ul> <li>(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長: 600m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



 +RXD、-RXD には終端抵抗 150Ω を接続してください。 MEMO

### B. 自作ケーブルを使用する場合



C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



### **MEMO** • +RXD、-RXD には終端抵抗 150Ω を接続してください。

D.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合



### 6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。使用できるデバイスの種類、範囲は CPU に よって異なる場合があります。ご使用になられる前に、各 CPU のマニュアルでご確認ください。

KOSTAC SG シリーズ

**□** はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
入力リレー	I0000 - I1777	R40400 - R40477		οcτ <b>8</b> ] 1
出力リレー	Q0000 - Q1777	R40500 - R40577		OCT 8 1
全局伝送リレー (入力)	GI0000 - GI3777	R40000 - R40177		oct <b>8</b> ] 1
特別局伝送リレー ( 出力 )	GQ0000 - GQ3777	R40200 - R40377		oct <b>8</b> ] 1
内部リレー	M0000 - M3777	R40600 - R40777		OCT <b>8</b> 1
特殊リレー	SP000 - SP777	R41200 - R41237	rt / Hi	0cT <b>8</b> 1
タイマ(接点)	T000 - T377	R41100 - R41117		ост <b>8</b> ] 1
カウンタ(接点)	C000 - C377	R41140 - R41157		oct <b>8</b> ] 1
ステージ	S0000 - S1777	R41000 - R41077		oct <b>8</b> ] 1
タイマ(経過値)	-	R0000 - R0377		οcτ <b>8</b> ]
カウンタ(経過値)	-	R1000 - R1377	_	<u>ост</u> <b>8</b>
データレジスタ1	-	R400 - R777		ост <b>8</b> ] <sub>Ві 1</sub> 15]
データレジスタ 2	-	R1400 - R7377		ост <b>8</b> ] <u>ві т</u> 15]
特殊レジスタ	-	R7400 - R7777	[	ост <b>8</b> ] <u>ві t</u> 15]
データレジスタ3	-	R10000 - R37777		ост 8] <u>ві</u> т15]

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。

 システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく MEMO ださい。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア ( ダイレクトアクセス 方式専用 )」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

KOSTAC SU シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
入力リレー	I000 - I477	R40400 - R40423		<u>ост</u> <b>8</b> 1
出力リレー	Q000 - Q477	R40500 - R40523		οcτ <b>8</b> ] 1
リンクリレー / リン ク入力	GI0000 - GI1777	R40000 - R40077		<u>ост</u> <b>8</b> ] 1
内部リレー	M0000 - M1777	R40600 - R40677		<u>oct</u> <b>8</b> ] 1
特殊リレー	SP000 - SP137 SP320 - SP717	R41200 - R41205 R41215 - R41234		<u>ος</u> τ <b>8</b> ] 1
タイマ(接点)	T000 - T377	R41100 - R41117		OCT <b>8</b>
カウンタ(接点)	C000 - C177	R41140 - R41147		οcτ <b>8</b> ] 1
ステージ	S0000 - S1777	R41000 - R41077		οcτ <b>8</b> ] 1
タイマ(経過値)	-	R0000 - R0377		0cT 8
カウンタ(経過値)	-	R1000 - R1177		ост <b>8</b> ]
データレジスタ	-	R1400 - R7377		ост <b>8</b> ] ві t <b>15</b> ]
	-	R700 - R737 R7400 - R7777		ост 8) <sub>Ві т</sub> 15)
拡張レジスタ <sup>3</sup>	-	R10000 - R17777		ост 8] ві 15]

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。

2 データの書き込みはできません。特殊レジスタの R700 ~ R737 は SU-6B のみ使用可能です。

3 SU-6B のみ使用可能です。

MEMO	<ul> <li>システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。</li> </ul>
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア ( ダイレクトアクセス 方式専用 )」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「『「表記のルール」

KOSTAC SZ シリーズ

└─── はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
入力リレー	I0000 - I0477	R40400 - R40423		<u>ост</u> <b>8</b> 1
出力リレー	Q0000 - Q0477	R40500 - R40523		<u>ост</u> <b>8</b> 1
内部リレー	M0000 - M0377	R40600 - R40617		<u>ост</u> <b>8</b> 1
特殊リレー	SP000 - SP137 SP320 - SP617	R41200 - R41205 R41215 - R41230		<u>ος</u> τ <b>8</b> ] 1
タイマ(接点)	T000 - T177	R41100 - R41107	[L/H]	<u>οςτ</u> 8] 1
カウンタ(接点)	C000 - C177	R41140 - R41147		<u>ост</u> <b>8</b> 1
ステージ	S000 - S777	R41000 - R41037		<u>ост</u> <b>8</b> 1
タイマ(経過値)	-	R000 - R177		<u>ост</u> <b>8</b>
カウンタ(経過値)	-	R1000 - R1177	-	<u>ост</u> <b>8</b> ]
データレジスタ	-	R2000 - R3777		ост <b>8</b> ] <u>ві t</u> 15]
特殊レジスタ	-	R7746 - R7777	1	ост <b>8</b> ] ві t15]

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。

MEMO	・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく
	ださい。

- 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア ( ダイレクトアクセス 方式専用 )」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

<sup>②予</sup>「表記のルール」

KOSTAC PZ3 シリーズ

└─── はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
入力リレー	10000 - 10777	R40400 - R40437		<u>ост</u> <b>8</b> ] 1
出力リレー	Q0000 - Q0777	R40500 - R40537		<u>ост</u> <b>8</b> ] 1
内部リレー	M0000 - M1777	R40600 - R40677		OCT <b>8</b>
特殊リレー	SP000 - SP777	R41200 - R41237		OCT <b>8</b>
タイマ(接点)	T000 - T377	R41100 - R41117	rL/H)	OCT <b>8</b>
カウンタ(接点)	C000 - C377	R41140 - R41147		OCT <b>8</b> ] 1
ステージ	S0000 - S1777	R41000 - R41037		οcτ <b>8</b> ] 1
タイマ(経過値)	-	R00000 - R41177		OCT 8
カウンタ(経過値)	-	R01000 - R41147		OCT 8
データレジスタ	-	R1400 - R7377 R10000 - R17777		ост 8] <u>ві</u> (15)
特殊レジスタ	-	R41200 - R41237		ост <b>8</b> ] <u>ві t</u> 15]

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。

MEMO	・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく
	ださい。

- 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア ( ダイレクトアクセス 方式専用 )」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

<sup>②予</sup>「表記のルール」

KOSTAC SR シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
入出力リレー	000 - 157 700 - 767	R000 - R014 R070 - R076 ( 前半 1 バイト )		<u>○ст</u> 8] ÷2] <sup>1</sup>
内部リレー	160 - 377 770 - 777	R016 - R036 R076 (後半 1 バイト )		<u>○ст</u> 8] ÷2] <sup>1</sup>
シフトレジスタ	400 - 577	R040 - R056	[L/H]	οcτ <b>8</b> ] ÷ <b>2</b> ] <sup>1</sup>
タイマ・カウンタ (接点)	600 - 677	R060 - R066		<u>○ст</u> 8) ÷2] <sup>1</sup>
タイマ・カウンタ (経過値)	-	R600 - R677		<u>ост</u> 8
データレジスタ	-	R400 - R576		<u>०००⊤8</u> ) <u>छात्ती5</u> ÷2)

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。

MEMO

 システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトアクセス 方式専用 )」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

DL-205 シリーズ

**□** はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
入力リレー	X0000 - X0477	V40400 - V40423		<u>ост</u> <b>8</b> 1
出力リレー	Y0000 - Y0477	V40500 - V40523		<u>ост</u> <b>8</b> 1
コントロールリレー	C0000 - C0377	V40600 - V40617		<u>ост</u> <b>8</b> 1
特殊リレー	SP000 - SP137 SP320 - SP617	V41200 - V41205 V41215 - V41230		oct <b>8</b> ] 1
タイマ(接点)	T000 - T177	V41100 - V41107	[L/H]	<u>ост</u> <b>8</b> 1
カウンタ(接点)	CT000 - CT177	V41140 - V41147		ост <b>8</b> 1
ステージ	S000 - S777	V41000 - V41037		<u>ост</u> <b>8</b> 1
タイマ(経過値)	-	V0000 - V0177		<u>ост</u> <b>8</b>
カウンタ(経過値)	-	V1000 - V1177		<u>ост</u> <b>8</b>
データレジスタ	-	V2000 - V3777		ост <b>8</b> ] <u>ві</u> t15]
特殊レジスタ	-	V7746 - V7777	1	ост 8) <u>віt</u> 15)

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。

MEMO	•	システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく
		ださい。

- 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア ( ダイレクトアクセス 方式専用 )」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

<sup>②予</sup>「表記のルール」

DL-305 シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
入出力リレー	000 - 157 700 - 767	V000 - V014 V070 - V076(前半1バイト)		<u></u> 8] ÷2] <sup>1</sup>
コントロールリレー	160 - 377 770 - 777	V016 - V036 V076 (後半 1 バイト )		<u>○ст</u> 8] ÷2] <sup>1</sup>
シフトレジスタ	400 - 577	V040 - V056	[L/H]	οcτ <b>8</b> ] ÷ <b>2</b> ] <sup>1</sup>
タイマ・カウンタ (接点)	600 - 677	V060 - V066		<u>₀ст</u> 8] ÷2] <sup>1</sup>
タイマ・カウンタ (経過値)	-	V600 - V677		8] ÷2]
データレジスタ	-	V400 - V576		<u>∞∝⊤8</u> ) <u>⊮⊤15</u> ) ÷2)

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。

MEMO

 システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア ( ダイレクトアクセス 方式専用 )」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

DL-405 シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
入力リレー	X000 - X477	V40400 - V40423		<u>ост</u> <b>8</b> 1
出力リレー	Y000 - Y477	V40500 - V40523		OCT 8 1
リンクリレー	GX0000 - GX1777	V40000 - V40077		οcτ <b>8</b> ] 1
リンク出力リレー	GY0000 - GY3777	V40200 - V40377		οcτ <b>8</b> ] 1
コントロールリレー	C0000 - C1777	V40600 - V40677		<u>ост</u> <b>8</b> ] 1
特殊リレー	SP000 - SP137 SP320 - SP717	V41200 - V41205 V41215 - V41234		<u>οςτ</u> 8] 1
タイマ(接点)	T000 - T377	V41100 - V41117	[L/H]	οcτ <b>8</b> ] 1
カウンタ(接点)	CT000 - CT177	V41140 - V41147		οcτ <b>8</b> ] 1
ステージ	S0000 - S1777	V41000 - V41077		OCT <b>8</b> ] 1
タイマ(経過値)	-	V0000 - V0377		0cT 8
カウンタ(経過値)	-	V1000 - V1177	_	<u>ост</u> <b>8</b>
データレジスタ1	-	V400 - V777		ост <b>8</b> ] <sub>Віт</sub> 15]
データレジスタ 2	-	V1400 - V7377		ост 8) <u>ві</u> т15)
特殊レジスタ	-	V7400 - V7777	[	ост <b>8</b> ] <u>ві т</u> 15]
データレジスタ3	-	V10000 - V37777		ост 8] <u>ві</u> т15]

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。

МЕМО	<ul> <li>システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。</li> </ul>
	参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトアクセス 方式専用 )」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

Direct Logic 05 シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
入力リレー	I0000 - I0377	R40400 - R40417		OCT <b>8</b> 1
出力リレー	Q0000 - Q0377	R40500 - R40517		<u>oct</u> <b>8</b> ] 1
内部リレー	M0000 - M0777	R40600 - R40637		<u>oct</u> <b>8</b> ] 1
特殊リレー	SP000 - SP777	R41200 - R41237		οcτ <b>8</b> ] 1
タイマ(接点)	T000 - T177	R41100 - R41107		ος <b>τ 8</b> ] 1
カウンタ(接点)	C000 - C177	R41140 - R41147		<u>oct</u> <b>8</b> ] 1
ステージ	S000 - S377	R41000 - R41017		<u>oct</u> <b>8</b> ] 1
タイマ(経過値)	-	R000 - R177		<u>ост</u> 8]
カウンタ(経過値)	-	R1000 - R1177		οcτ <b>8</b> ]
V- メモリ	-	R1200 - R7377		ост <b>8</b> ] <u>ві t</u> <b>15</b> ] <sup>2</sup>
V- メモリ 不揮発性	-	R7400 -R7577	ſ	<u>∞∝⊤8</u> ] <u>⊮⊤</u> 15]
システムパラメータ	-	R7600 - R7777		ост <b>8</b> ] <u>ві (</u> 15)

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。

2 R1200 ~ R1377 はビット指定できません。

MEMO ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

> 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア ( ダイレクトアクセス 方式専用 )」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「『「表記のルール」

Direct Logic 06 シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
入力リレー	10000 - 10777	R40400 - R40437		OCT <b>8</b> 1
出力リレー	Q0000 - Q0777	R40500 - R40537		OCT <b>8</b> ] 1
内部リレー	M0000 - M1777	R40600 - R40677		OCT <b>8</b> ] 1
特殊リレー	SP000 - SP777	R41200 - R41237		οcτ <b>8</b> ] 1
タイマ(接点)	T000 - T377	R41100 - R41117		OCT <b>8</b> ] 1
カウンタ(接点)	C000 - C177	R41140 - R41147		OCT <b>8</b> ] 1
ステージ	S0000 - S1777	R41000 - R41147	ГЛ	<u>ост</u> <b>8</b> ] 1
タイマ(経過値)	-	R000 - R377		<u>ост</u> 8
カウンタ(経過値)	-	R1000 - R1177		<u>ост</u> 8
V- メモリ	-	R0400 - R0677 R1200 - R7377 R1000 - R1777		ост <b>8</b> ] <sub>Ві 1</sub> 15] <sup>2</sup>
V- メモリ 不揮発性	-	R7400 -R7577	ſ	ост 8] <u>ві 1</u> 5]
システムパラメータ	-	R700 - R777 R7600 - R7777 R3600 - R3777		<u>ост</u> 8ј <u>вт</u> 15ј

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。

2 R1200 ~ R1377 はビット指定できません。

MEMO ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

- 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア ( ダイレクトアクセス 方式専用 )」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

<sup>②</sup>「表記のルール」

# 7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレ ス」を設定している場合に使用します。

KOSTAC SG/KOSTAC SU/KOSTAC SZ/KOSTAC PZ3/Direct Logic 05/Direct Logic 06 シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入力リレー	I/R	0080	ワードアドレス
出力リレー	Q/R	0081	ワードアドレス
リンクリレー	GI/R	0082	ワードアドレス
リンク出力リレー	GQ/R	0083	ワードアドレス
内部リレー	M/R	0084	ワードアドレス
特殊リレー	SP/R	0085	ワードアドレス
タイマ(接点)	T/R	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	C/R	00E1	ワードアドレス
ステージ	S/R	0004	ワードアドレス
タイマ(経過値)	R	0060	ワードアドレス
カウンタ(経過値)	R	0061	ワードアドレス
データレジスタ1	R	0000	ワードアドレス
データレジスタ 2	R	0001	ワードアドレス
特殊レジスタ	R	0002	ワードアドレス
データレジスタ 3	R	0003	ワードアドレス

### KOSTAC SR シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出力リレー (R000-R014)	/R	0080	ワードアドレス÷2の値
入出力リレー(R070-R076)			
内部リレー (R016 - R036)			
内部リレー (R076)			
シフトレジスタ			
タイマ・カウンタ(接点)			
タイマ・カウンタ(経過値)	R	0060	ワードアドレス
データレジスタ	R	0000	ワードアドレス÷2の値

DL-205/DL-405 シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入力リレー	X/V	0080	ワードアドレス
出力リレー	Y/V	0081	ワードアドレス
リンクリレー	GX/V	0082	ワードアドレス
リンク出力リレー	GY/V	0083	ワードアドレス
コントロールリレー	C/V	0084	ワードアドレス
特殊リレー	SP/V	0085	ワードアドレス
タイマ(接点)	T/V	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	CT/V	00E1	ワードアドレス
ステージ	S/V	0004	ワードアドレス
タイマ(経過値)	V	0060	ワードアドレス
カウンタ(経過値)	V	0061	ワードアドレス
データレジスタ1	V	0000	ワードアドレス
データレジスタ2	V	0001	ワードアドレス
特殊レジスタ	V	0002	ワードアドレス
データレジスタ 3	V	0003	ワードアドレス

DL-305 シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出力リレー (V000 - V014)	/V	0080	ワードアドレス÷2の値
入出力リレー(V070 - V076)			
コントロールリレー (V016 - V036)			
コントロールリレー ( V076 )			
シフトレジスタ			
タイマ・カウンタ(接点)			
タイマ・カウンタ(経過値)	V	0060	ワードアドレス
データレジスタ	V	0000	ワードアドレス÷2の値

## 8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数): MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス: デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「10 進数[16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード: 1[01H])」

MEMO	• 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	・ ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「エ
	ラーが表示されたら(エラーコード一覧)」を参照してください。

### 接続機器特有のエラーコード

接続機器特有のエラーコードは、以下のようになります。

エラーコード	説明
01	シリアルリンク上でタイムアウトが発生しました。
04	利用できる範囲外の入出力データを要求されました。
0C	ヘッダ転送時、3回リトライしてもエラーが発生しました。
0D	データ転送時、3回リトライしてもエラーが発生しました。
14	データブロック転送中、以下のエラーのうち 1 つ以上が発生しました。 ・無効な STX を受信した ・無効な ETB を受信した ・無効な ETX を受信した ・無効な LRC を受信した ・パリティ、フレーミングあるいはオーバーランエラーが発生した
15	親局からの EOT の受信を待っていましたが、受信できませんでした。
16	ACK/NAC 待ちのとき、どちらも受信できませんでした

エラーコード	説明
1D	ヘッダ / データ転送以外で以下のエラーのうち 1 つ以上が発生しました。 ・無効な STX を受信した ・無効な ETB を受信した ・無効な ETX を受信した ・無効な LRC を受信した ・パリティ、フレーミングあるいはオーバーランエラーが発生した
1E	ヘッダ転送中、以下のエラーのうち1つ以上が発生しました。 ・無効な SOH を受信した ・無効な ETB を受信した ・無効な LRC を受信した ・パリティ、フレーミングあるいはオーバーランエラーが発生した